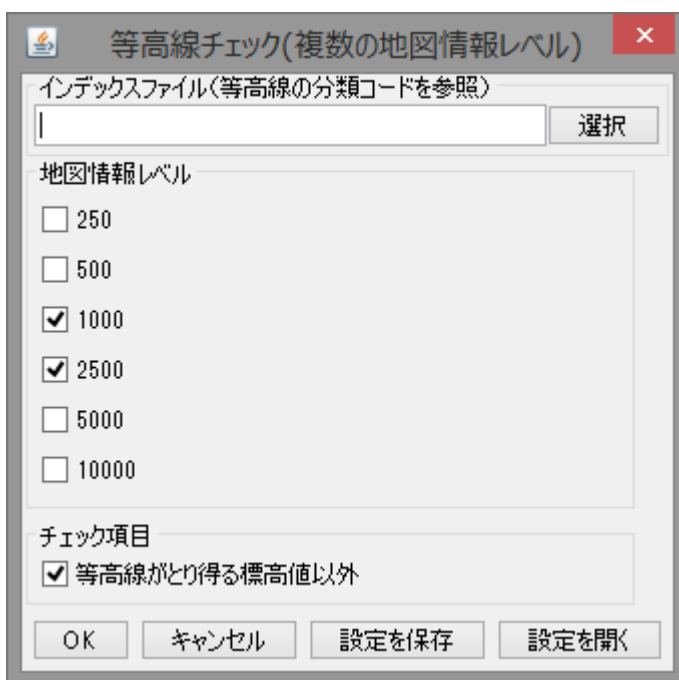


## 1. 等高線チェック(複数の地図情報レベル)

新ニュー[チェック 1]-[等高線チェック(複数の地図情報レベル)]を追加しました。

例えば、DM は地図情報レベル 2500 でも、等高線は地図情報レベル 1000 と 2500 が混在している場合のチェックを行います。



### インデックスファイル

メニュー「等高線チェック」の「インデックスファイル」参照

### 地図情報レベル

開いている DM データファイルの等高線の地図情報レベルを指定します。

### 等高線がとり得る標高値以外

等高線の種類（計曲線、主曲線、補助曲線、特殊補助曲線）に対して、それぞれとり得る標高値以外のケースを検出します。等高線の線(E2)の最初の点の Z 値について、DM の地図情報レベルに応じて、下記の値の倍数以外の等高線をリストアップします。例えば、ダイアログで 1000 と 2500 が指定された場合、計曲線は 5m の倍数以外はエラーとなります。

地図情報レベル	計曲線	主曲線	補助曲線	特殊補助曲線
250、500、1000	5m	1m	0.5m	0.25m
2500	10m	2m	1m	0.5m
5000	25m	5m	2.5m	1.25m
10000	50m	10m	5m	2.5m

## 2. 点-注記チェック

新メニュー[チェック 2]-[点-注記チェック]を追加しました。

点-注記チェック

対象の点(E5)

7311 標石を有しない標高点

7312 図化機測定による標高点

分類コードで指定

参照の注記(E7)

8173 標高注記

分類コードで指定

対象から参照までの最大水平距離(メートル)

点のZ値と注記の標高値の差の最大値(メートル)

チェック内容

対応している注記がない点をリストアップ

対応している点と注記をリストアップ

### 対象の点(E5)

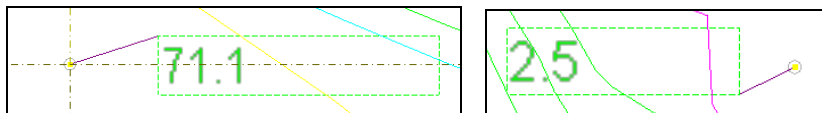
チェックする点(E5)を分類コードで指定します。

### 参照の注記(E7)

参照する注記(E7)の分類コードを指定します。指定された分類コードの注記のうち、文字列が数値の注記を参照します。

### 対象から参照までの最大水平距離(メートル)

対象の点(E5)から、参照する注記(E7)の最大距離を指定します。点から注記までの距離は、注記の囲む矩形の四隅について、点と最も近い角を採ります。下図は「対応している点と注記をリストアップ」の標示です。



### 点のZ値と注記の標高値の差の最大値(メートル)

点(E5)のZ値は「2.52」、対応する注記の文字列は「2.5」の場合などに対応するための差の最大値を指定します。指定した差より大きい場合、点(E5)のZ値と注記の文字列の数値が合っていないケースになります。

### 対応している注記がない点をリストアップ

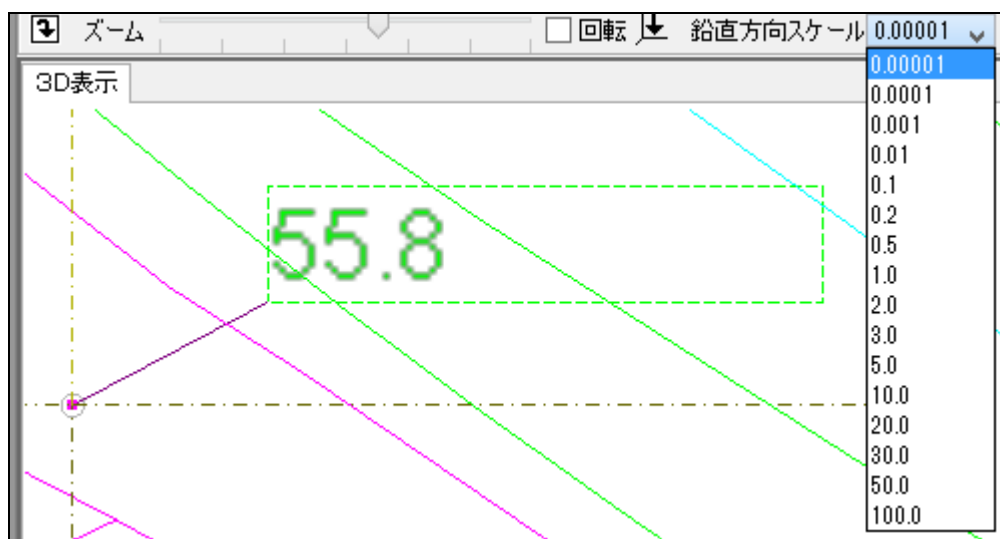
点(E5)について対応している注記がない場合をリストアップします。

点の近くに注記がない場合

点の近くに注記があっても、点のZ値と注記の文字列の数値の差が大きい場合

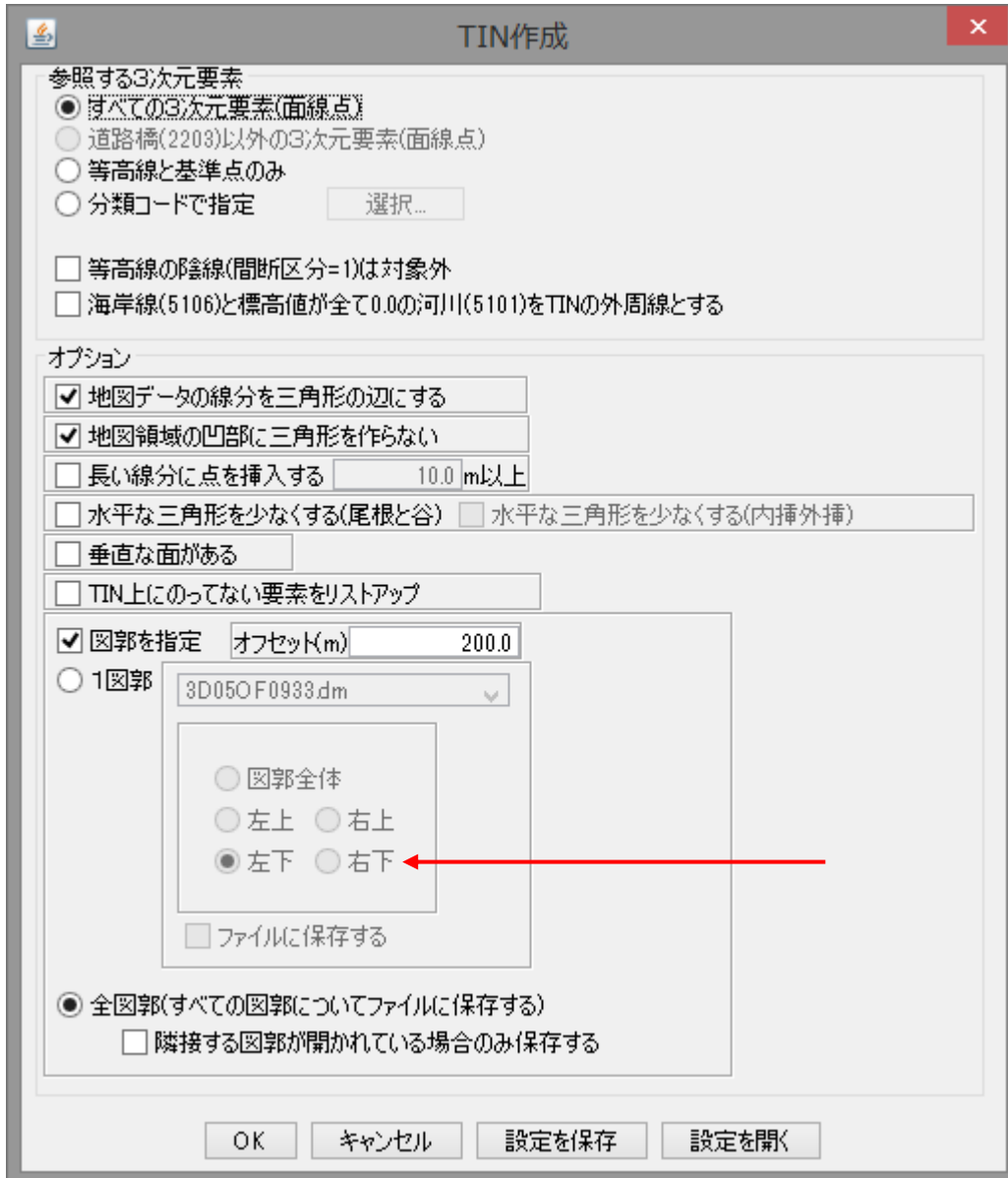
### 対応している点と注記をリストアップ

対応している注記(E7)がある点(E5)をリストアップします。点から注記を囲む矩形の角への線を表示します。点(E5)は3次元、注記(E7)は2次元なので、「鉛直方向のスケール」は最小値で確認してください。



### 3. TIN 作成

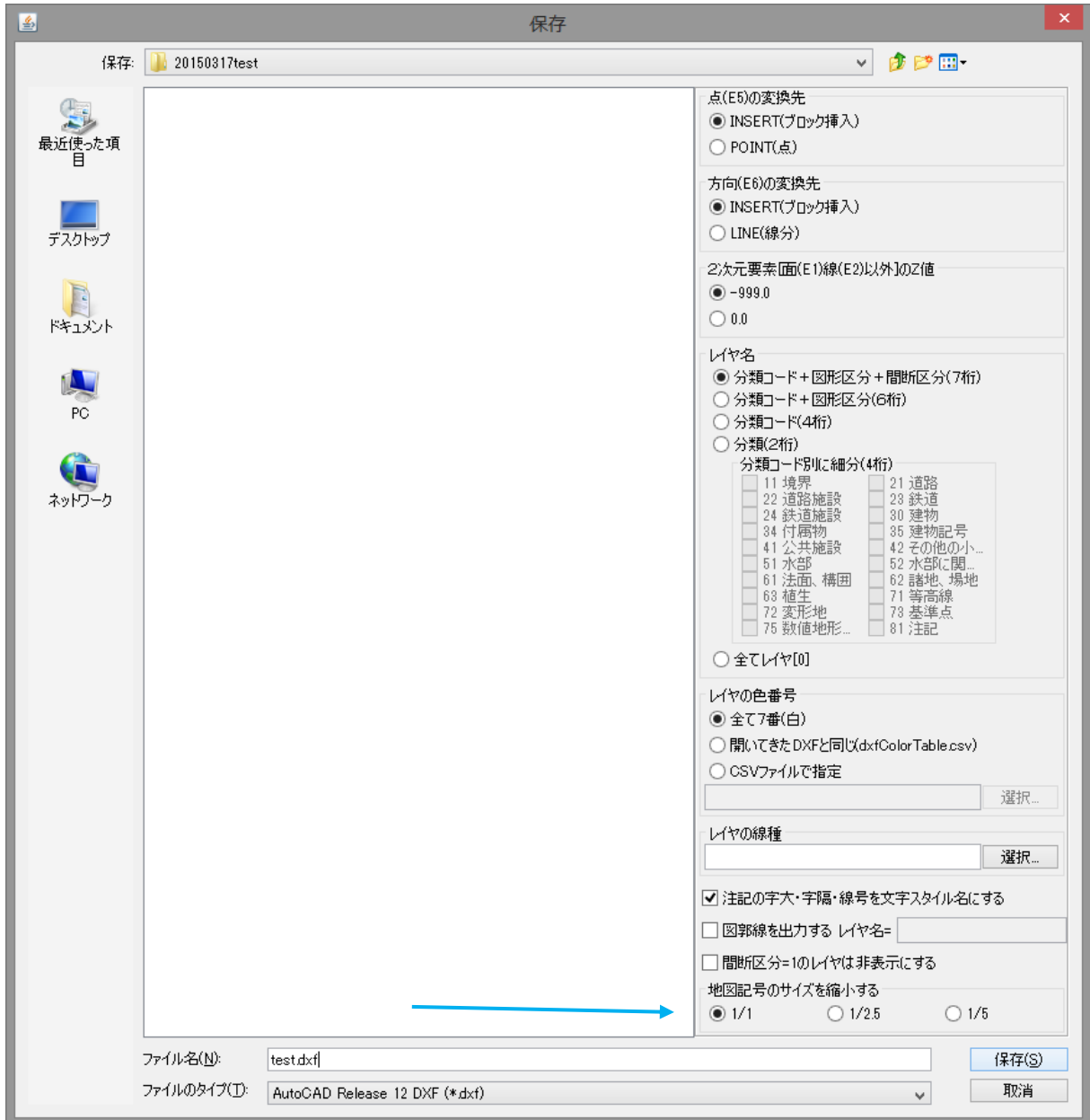
メニュー[TIN]-[TIN 作成]のダイアログで、下図のように「全図郭(すべての図郭についてファイルを保存する)」が ON になっていても、「1 図郭」の設定が「図郭全体」ではなく、「左上」「右上」「左下」「右下」が選択されていると、保存する TIN の形状の一部が変形する問題を修正しました。



「全図郭」では、「1図郭」の設定の影響は受けないように修正しました。

#### 4. エクスポート DXF

DM から DXF を保存する際に、オプション「地図記号のサイズを縮小する」を追加しました。




### 地図記号のサイズ

点(E5)と方向(E6)について、INSET で記録する場合、記号のブロックを表示するサイズを設定しています。通常は、DM の地図情報レベルに合わせてスケールを設定しています。この設定に対して、サイズを小さくしたい場合、「1/2.5」とか「1/5」を選択します。DM の地図情報レベルが 10000 や 25000 の場合に、DXF の文字を小さくしたい場合の機能です。デフォルトは「1/1」です。


## 5. チェックメニューを分割

メニュー「チェック」のメニューが増えて見づらくなったため、「チェック 1」と「チェック 2」に分割しました。メニュー「道路チェック」から以下を「チェック 2」に分けました。メニューの順序は変更していません。

チェック1 チェック2 一括処理 DMからDM DMから変換

チェック対象指定...	
標準チェック...	方向入
レコードタイプチェック...	
点列チェック...	
図郭チェック...	
図郭チェック2...	
等高線チェック...	
等高線チェック(複数の地図情報レベル)...	
等高線3Dチェック...	
アンダー・オーバーシュート...	
アンダー・オーバーシュート(組み合わせ)...	
ノードチェック...	
ノードチェック(組み合わせ)...	
ネットワークチェック...	
ネットワークチェック2...	
線の包含重複チェック...	
線の重複チェック...	
線の重複チェック(組み合わせ)...	
線の重複での陰線...	
ポリゴンの重複チェック...	
交差チェック...	
近接線チェック...	
3Dチェック...	
3Dチェック(近傍)...	

チェック1 チェック2 一括処理 DMからDM DMから変換

追加: スナ	道路チェック...	✓
	河川チェック...	向ス!
	ブレイクラインチェック...	
	建物チェック...	
	点要素チェック...	
	方向要素チェック...	
	始終点座標一致チェック...	
	座標列方向チェック...	
	射影部チェック...	
	間断区分チェック...	
	表現補助データチェック...	
	線分チェック...	
	斜面チェック...	
	注記チェック...	
	注記チェック2...	
	注記チェック3...	
	注記-点チェック...	
	点-注記チェック...	
	グループヘッダレコード...	
	基準点・等高線数値の表示密度...	
	その他のチェック...	
	バッチチェック...	